

森林調査技術員 正職員募集

森林施業プランナーになって 未来の森づくりに参加しよう!



業務
内容

- 事業関係事務
- 山林へ出向いての森林調査・測量および結果の取りまとめ
- 間伐など施業のプランニング
- 現場作業の管理 等

※正式採用後に順次研修を受け、「森林施業プランナー」はじめ各種資格を取得していただきます。

年齢	30歳以下* (高卒以上、未経験者歓迎**)
勤務時間	8時～17時
給与	基本給 172,000円～210,000円+各種手当
賞与	あり 年2回+業績により期末手当
福利厚生	健康保険、厚生年金、雇用保険他
休日	土曜、日曜、祝日、夏季年末年始
採用予定	若干名 (随時面接・採用)
務地	愛知県北設楽郡豊根村下黒川字蕨平3番地

応募前の相談や
現場見学など
いつでも歓迎!



*年齢制限の理由: 長期勤務によるキャリア形成を図るため **資格: 普通自動車免許 (AT限定は不可)

くわしくは、ハローワークにて
求人票をご覧いただくか、
当組合までお問合せください。

豊根森林組合
☎0536-85-1014

山や木のことなら、まずは森林組合にご相談ください。

Tel.0536-85-1014 Fax.0536-85-1134 (午前8時～午後5時/平日のみ)

発行: 豊根森林組合 〒449-0403愛知県北設楽郡豊根村下黒川字蕨平3番地 TEL.0536-85-1014

森林組合だより

令和3年7月
Vol.11

豊根森林組合



令和3年2月、「林業・木材製造業労働災害防止協会」より講師2名にお越しいただき、上黒川地内にて安全講習会を行いました。実際に伐倒も行い、講師と現場の活発な意見交換がされる良い機会となりました。



令和3年1月、中間土場にて安全講習会を行いました。組合の作業員だけでなく外部の業者の方にも参加いただき伐倒時のトレーニングなどを行いました。

組合長あいさつ

代表理事組合長 村松 久



昨年に続き、新型コロナウイルス感染防止措置のため「豊根森林組合通常総会」の議案採決を「書面議決書」で行ないました。

役員改選も行われ、私も4期目の組合長を拝命しました。林業離れが進む中、組合員の皆様が林業・森林組合を身近に感じられるよう役員一同努力していく所存です。

今後を見据えて、木材の生産流通を上黒川地内に「中間土場」を設け、昨年10月から実証事業として運営を開始しました。2月には10tトラックも導入し、山から中間土場への運搬・仕分作業・トレーラへの積替えの流れも確立しつつあります。選別出荷できますので、山主さんにも還元できるかな?と期待しています。

昨年度は、コロナの影響が林業にも及び、特に5~7月は林産が出荷制限、材価下落等により年末まで休眠状態となりました。ところが3月になると突然木材不足が言われ始め、あれよあれよという間に

「ウッドショック」と云われる社会現象として取扱われるようになりました。

理由は、コロナ禍、米中の新築需要、原木資源国の森林保護政策による輸出制限、世界的なコンテナ船不足等の様々な要因があります。

原木素材の現場では、3月との比較でヒノキが17,000円→27,000円/m³に、杉は12,000円→18,000円/m³に上昇しています。年末までは強気相場が続くとの見方が多いです。

木材業界はその様な状態ですが、山元の現況はどうかと云いますと半世紀にわたる、あまりにも長い不況により、世代交代・後継者不在、木材業者の廃業、作業員の人手不足もあり急に流通量を増やすことは難しい状況です。当森林組合でも、機械化してはいますが生産量は上限年8,000m³程です。今なら高く売れると云うことで、伐採依頼が増えている訳でも、国県で事業量を増やす計画がある訳でも無いので、森林組合系統にとって「ウッドショック」は世間の話になっている状況です。

日本は少子化等により20年後には住宅着工戸数が60万戸程度になると予想されますので、遠からず輸入木材の供給や価格が元に戻るのではないかと考えられます。そのようなことを鑑みますと、令和3年の一過性の空騒ぎに終りそうです。

令和3年度の役員をご紹介します。

6月25日の通常総会におきまして、下記の通り就任いたしました。つきましては組合業務のさらなる充実のため決意を新たに鋭意努力してまいります所存です。

石田 博三 [理事]
人工林が本格的な利用期に入るので、集落・農地の日照の確保(山頂付近の伐採)等地域の将来に向けた舵取りが必要です。

石原 詳宣 [理事]
組合のすべてのスタッフと役員が一丸となって豊根の林業振興と組合員のために微力ながら努力いたします。

伊藤 浩亘 [理事]
世代交代と山離れで森林境界が不明確になりつつあります。貴重な森林資源を後世に引き継ぎ、活用するために、いま何をすべきか、将来を見据え考えてまいります。

川井 富孝 [監事]
森林整備の推進、雇用の拡大など豊根村の地域活性化には森林組合の健全経営が欠かせません。与えられた職務を精一杯取り組んでいきます。

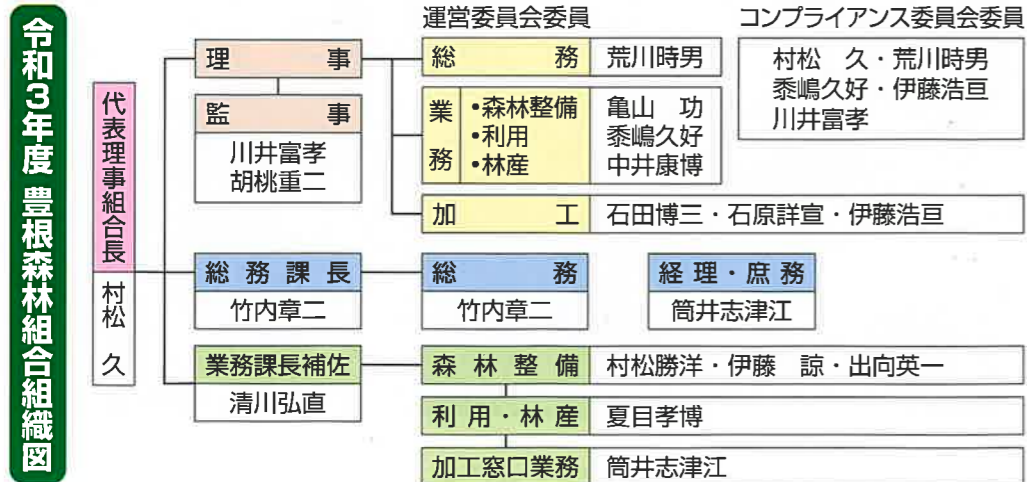
荒川 時男 [理事・副組合長]
先代より受け継いだ豊根の森林が収穫の時を迎えました。皆伐促進伐って植えよう木サイクル新しい未来への森づくり

黍嶋 久好 [理事]
監事を2期務めさせていただきました。このたび理事に就任致しました。微力ではございますが、職務、業務に邁進する所存でございます。

中井 康博 [理事]
1日も早い終息が求められている昨年来のコロナ禍によりライフスタイルも一変しましたが林業不振にも拍車がかかり、林業活性化のため全身全霊で取り組む所存です。

亀山 功 [理事]
豊かな森林保全や資源の有効利用に取り組むいろいろな事業の推進に一定の役割を果たす為にも労働力の確保・人材の育成に努め健全で活力ある森林を造っていききたいと思います。

胡桃 重二 [監事]
森林事業において木材価格の低迷の中、後継者不足・森林整備等の担い手不足等問題がたくさんではあるが少しでも魅力ある森林業にしていければと思います。



新入職員の紹介

4月から当組合の事務職員として入職しました出向 英一(でむかいひでかず)です。自然にかかわる仕事をし、県の方のご紹介で当組合の募集を知りました。入職から約3か月が経ち、毎日が新しいことの発見です。まだまだ体が慣れない日もありますが、良い仕事を選ぶことができましたと振り返っています。これからよろしくお願ひ致します。



愛知県では平成21年度から「あいち森と緑づくり事業」を実施しています。

昨年度からは防災・減災やライフライン確保のため、国道151号等での道路沿いを重点的に森林の整備を進めました。今年度も引き続き国道151号沿いの整備を進めてまいります。みなさまのご理解とご協力をお願いします。



木サイクルセンター ホームページ更新について



豊根村の「森づくり事業」の補助を活用し、内容を更新しました。「ペレット申込用紙」もダウンロードできるようになりました。豊根森林組合のホームページもしくは豊根村公式ホームページ内の「リンク集」からご確認いただけます。



豊根森林組合事務職員のご紹介



【後列左から】村松久(代表理事組合長)/清川弘直(業務課長補佐) 夏目孝博(林産・治山)/出向英一(森林整備) 【前列左から】筒井志津江(庶務・経理)/村松勝洋(森林整備) 竹内章二(総務課長代理)/伊藤諒(森林整備)

森林環境譲与税

市町村では、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされており、また都道府県においては「森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用」に充てることとされています。これまで手入りが十分に行われてこなかった森林の整備が進展するとともに、山村地域で生産された木材を都市部に利用することや、山村地域との交流を通じた森林整備に取り組むことで、都市住民の森林・林業に対する理解の醸成や、山村の振興等につながる事が期待されます。なお、森林環境譲与税の用途については、市町村等は、インターネットの利用等により用途を公表しなければならないこととされています。



グラップルトラックによりコスト削減・利益増大へ向けてますます力を入れます。

令和3年3月に新車を導入しました。いすゞ社製で積載量8t、グラップルはパルフィンガー(エプシロン)です。実証事業で行っている中間土場の効果アップを目指し、山から中間土場へ丸太を運搬します。



実証実験として中間土場の活用が始まりました

令和2年10月より豊根村・愛知県森林組合連合会に協力をいただき上黒川地内にて中間土場の活用事業が始まりました。山林所有者の利益増大を目指す実証事業で、2年間を目途に取り組みます。村内の各現場から中間土場に丸太を集約し、大きいロットで製材工場に直送することにより運賃削減や市場を介さないことによりコスト(市場手数料、販売手数料、買方者のマージンなど)を抑えるよう努力していきます。新たな取り組みなので各部署に負担が出たりスムーズに進まないこともありますが、組合員のみなさまのために精一杯努力していきます。

